



Yahoo! JAPAN Ads API Webinar

Mar, 2021

Agenda

- API 全体スケジュール
- レポートの負荷状況
- Yahoo!広告 API アップデート 概要
 - MCC関連機能
 - 予約型対応 など
- 質疑応答

質疑応答の実施方法

APIパートナー限定

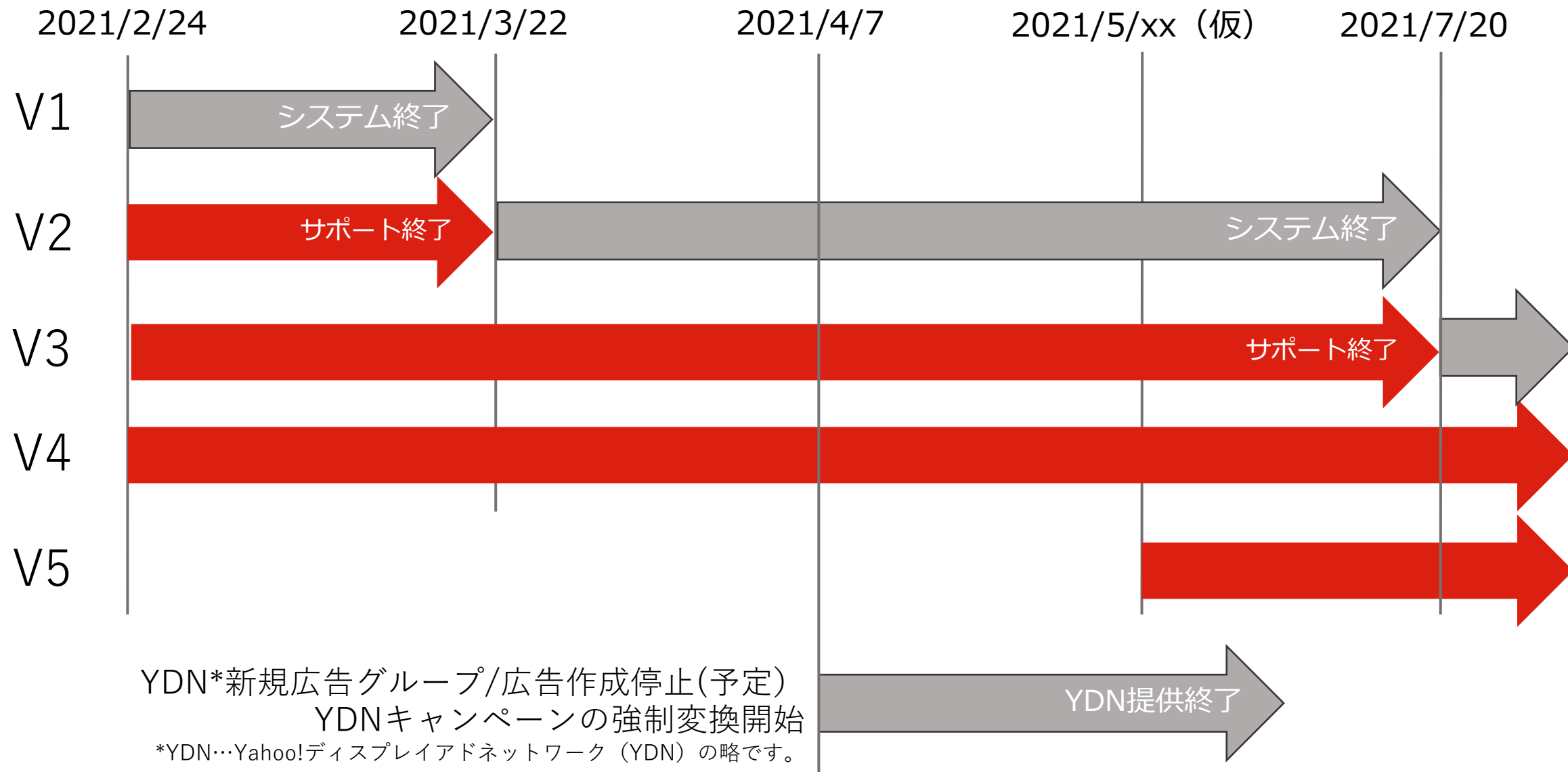
質疑応答はSlidoにて実施いたします。下記へアクセスお願いいたします。



<https://app.sli.do/event/hpwdt0oh>

API全体のスケジュール

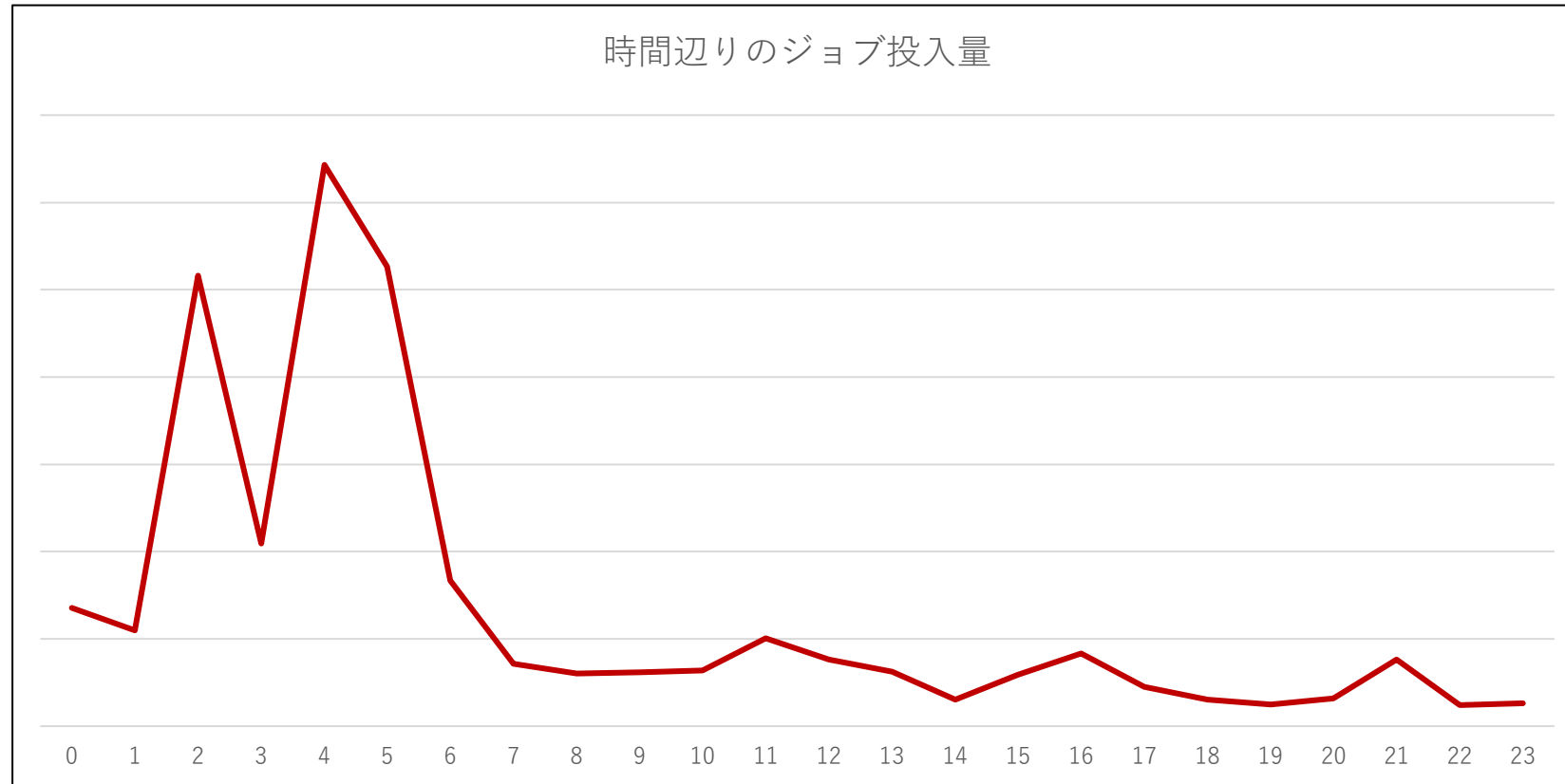
APIパートナー限定



検索広告 レポートの負荷状況

APIパートナー限定

2021/02/09取得



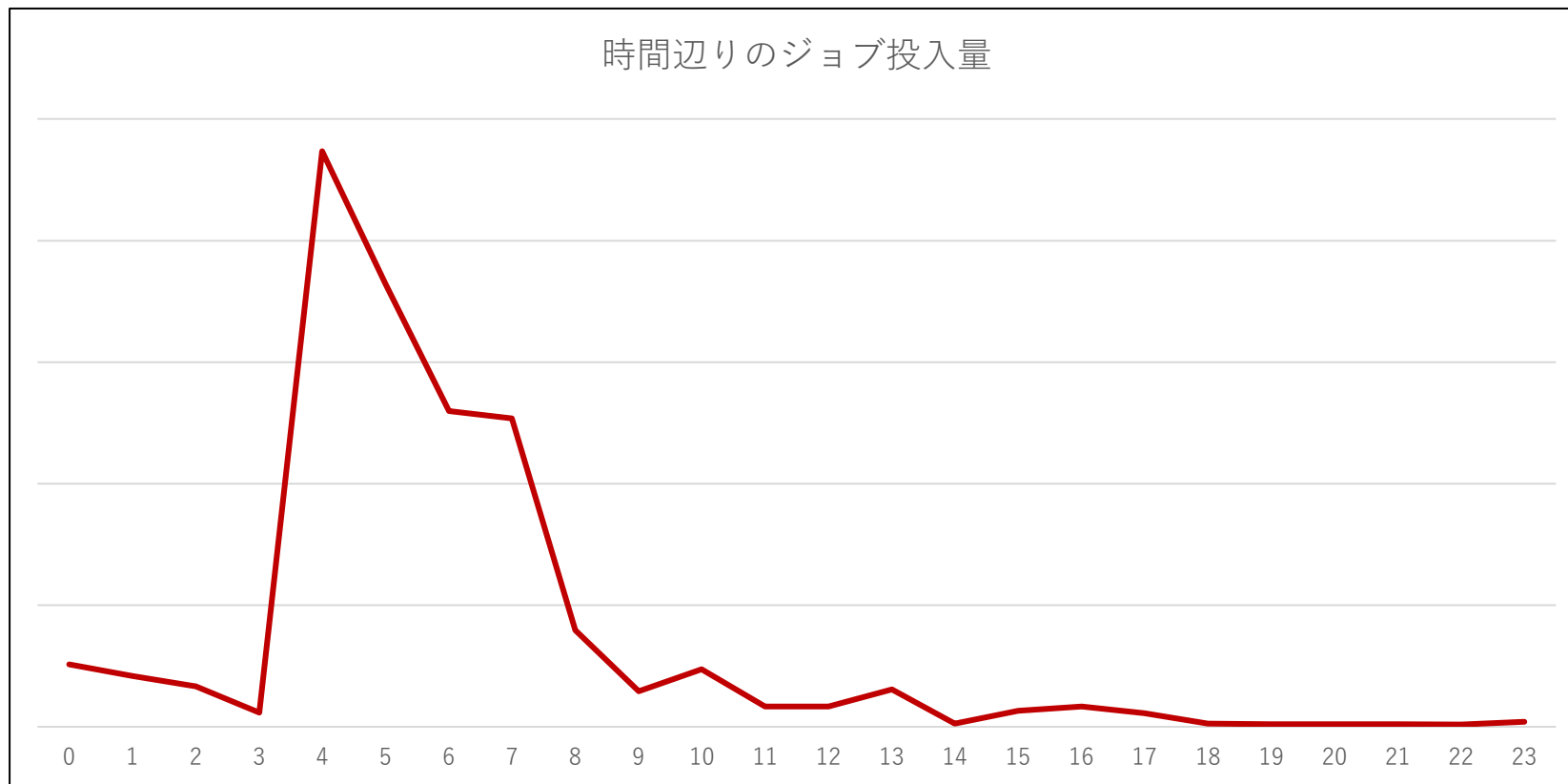
- ・ 待機時間が一番長くなるのは4時で、平均6分程度の待ち時間が発生している
- ・ 大量データを取得するなら、18時以降が比較的すいている

※待機時間 = jobStatusがWAITからIN_PROGRESSに変わるまでの時間

ディスプレイ広告（運用型）レポートの負荷状況

APIパートナー限定

2021/02/09取得



- ・ 待機時間が一番長くなるのは4時と7時で、平均5分程度の待ち時間が発生している
- ・ 大量データを取得するなら、待ちのない18時以降がオススメ

※待機時間 = jobStatusがWAITからIN_PROGRESSに変わるまでの時間

Yahoo!広告 API アップデート概要

APIパートナー限定

- ・ アップデート内容について

Yahoo!広告 MCCアカウントについて

APIパートナー限定

Yahoo!広告 API v4よりMCCアカウントに順次対応いたします。
まずは、MCCアカウントについての概要をお伝えします。

MCC（マイ クライアント センター）アカウントとは

検索広告およびディスプレイ広告において複数のアカウントを広告主様の企業ごとに束ねるための最上位のエンティティです。

この機能は広告運用を行う代理店様、広告主様にとって業務効率の向上が期待できますので、今後の利用の拡大が予想されます。

具体的なメリットについては次頁より説明いたします。

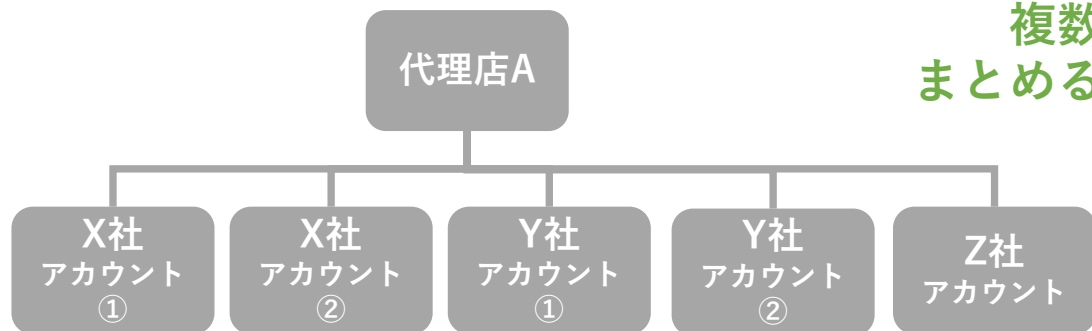
Yahoo!広告 MCCアカウントについて

APIパートナー限定

代理店AがMCCアカウントを利用する場合の例

MCC前

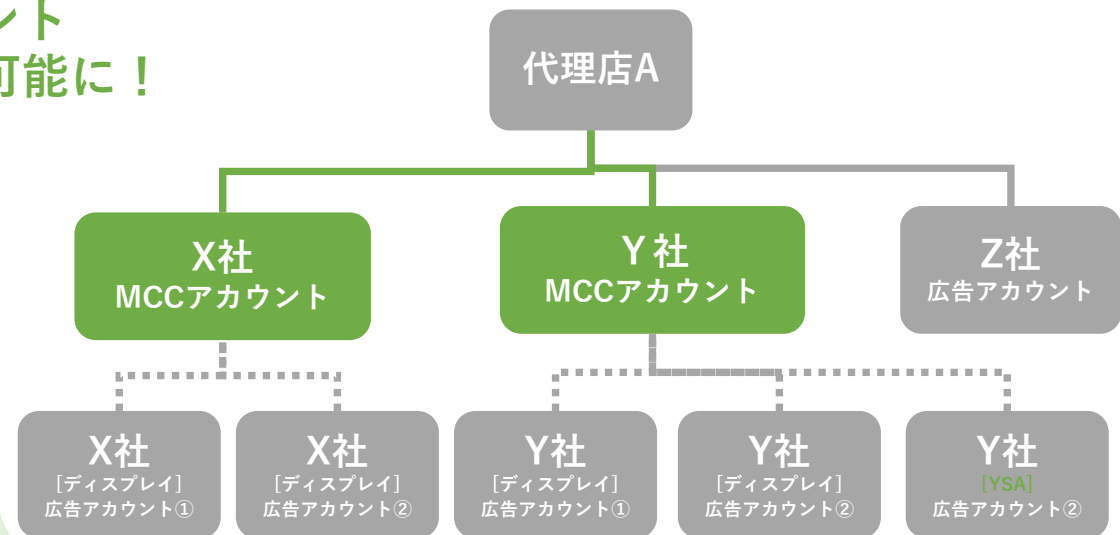
広告主はアカウントを予算や目的の単位で分けていることが多く、複数のアカウントを所有しているケースが多い。



複数アカウント
まとめることが可能に！

MCC後

複数アカウントを束ねることができる
「MCCアカウント」というエンティティを設置



Yahoo!広告 MCCアカウントについて

APIパートナー限定

MCCアカウントを導入するメリット

Yahoo!広告を運用する際の広告アカウント運用の効率化や権限管理のシンプル化が図れます。

1. アカウント運用の効率化
2. 権限管理のシンプル化

が主なメリットとして挙げられます。

1. アカウント運用の効率化

広告管理ツールの「アカウント一覧」画面では、通常は登録したアカウントがすべて表示され、**グループ分けを行えません。**

MCCアカウントを利用して**複数のアカウントをまとめる**ことで、広告管理ツール上でMCCアカウントに関連付けられたアカウントのみを表示し、**予算の管理や編集をまとめて行う**など、**アカウント運用を効率化**できます。

具体的な例は次頁にあげております。

プライバシー - 利用規約 - 広告取扱い基本規定 - Yahoo! JAPANビジネスID利用規約 - 免責事項 - ヘルプ
Copyright (C) 2021 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

2. 権限管理のシンプル化

MCCアカウントのツール利用者に対して「登録更新権限」を付与することで、MCCアカウント配下の各アカウントの登録・編集を行えます。

MCCアカウントのツール利用者に対してアカウントの「管理権限」を付与することで、入金手続きなどの操作が可能です。最上位権限である「ツール管理権限」を付与する必要はありません。

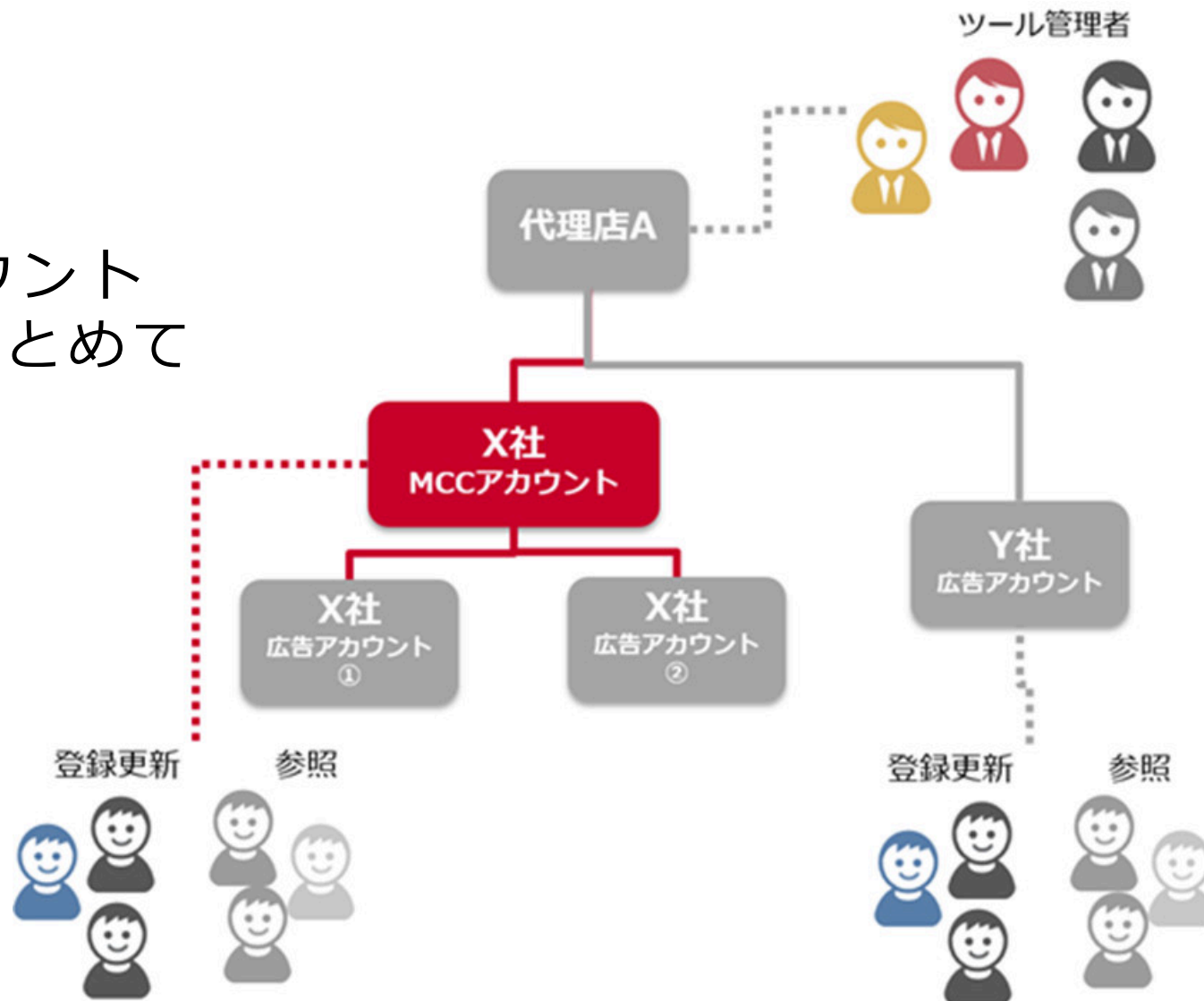
MCCアカウントを利用し複数アカウントをまとめることで、広告運用者の権限をシンプルに管理できます。

Yahoo!広告 MCCアカウントについて

APIパートナー限定

2. 権限管理のシンプル化

例にあるようにMCCアカウント配下の広告アカウントをまとめて権限管理できます。



Yahoo!広告 MCCアカウントについて

APIパートナー限定

MCCアカウントについて概要と主なメリットをお伝えしてきました。
特にYahoo!広告の運用者にとって**業務効率の改善に大きく貢献する機能**となっております。

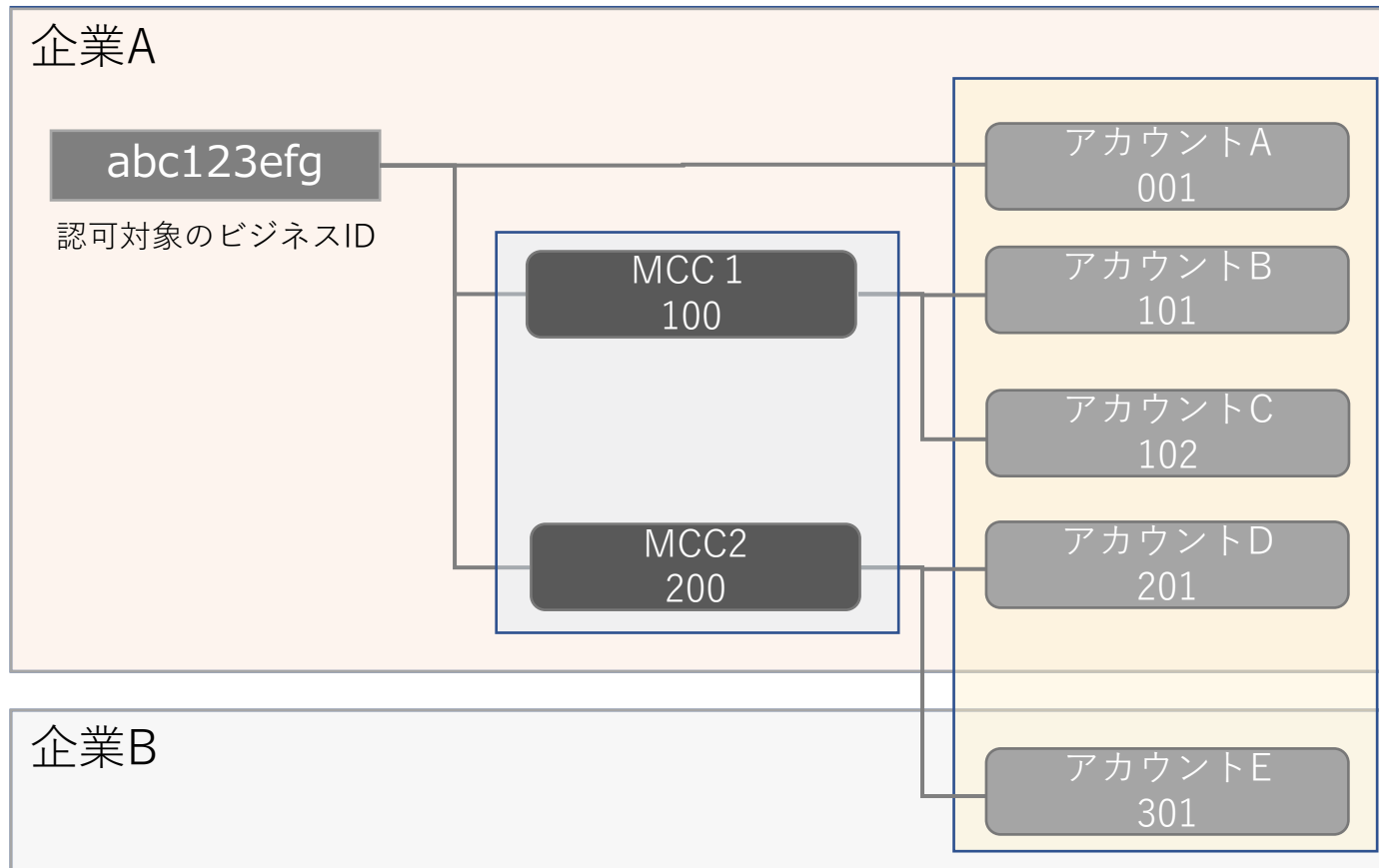
API開発者にとっての大きなメリットではないのですが、今後利用と機能が拡大されますので概要をお伝えさせていただきました。

今回v4でリリースされるAPIのうち、MCCに関連する機能を次のページから説明いたします。

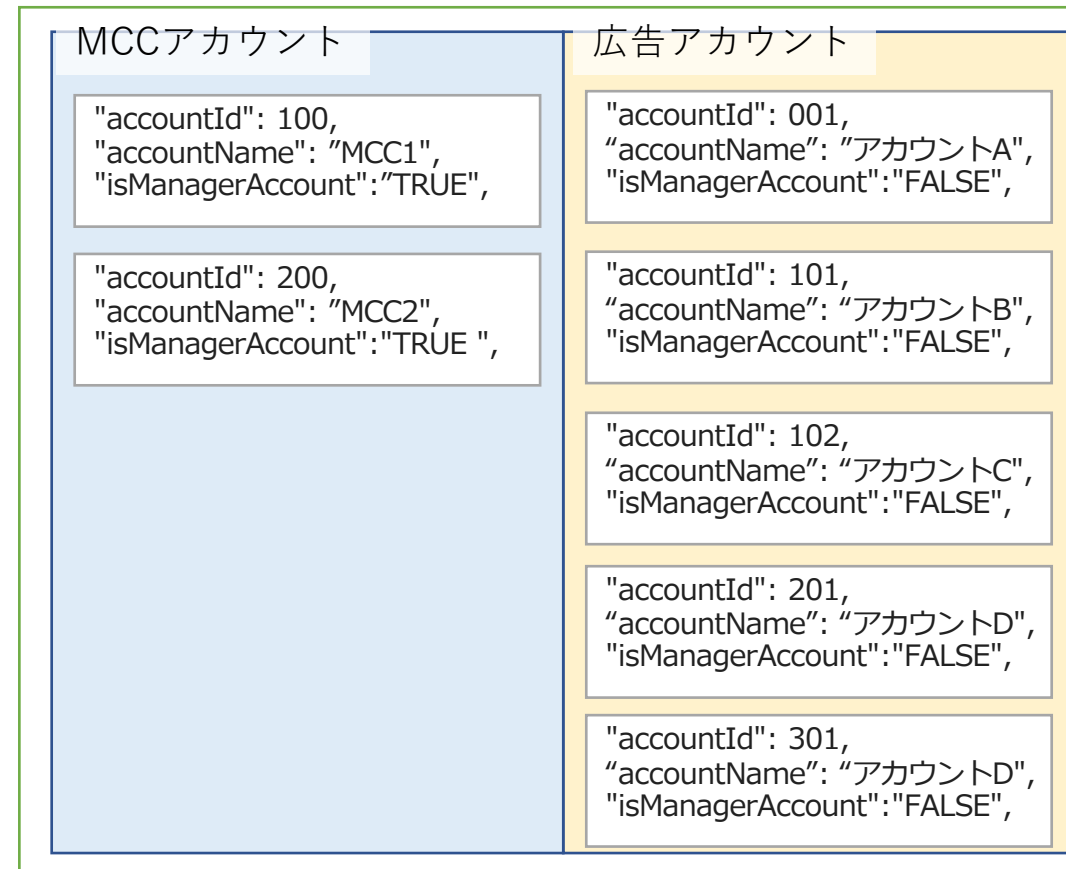
MCC対応 AccountService

APIパートナー限定

AccountService#getの取得イメージ



認可対象のビジネスIDから取得できるアカウント情報



※ 互換維持のためにv4のデフォルトのリクエストではisManagerAccount:FALSEが設定されています

MCC対応 AccountService

APIパートナー限定

AccountServiceにてMCCアカウントが取得可能になります

リクエストとレスポンスにMCCアカウントかどうかの種別が加わります

共通

対象バージョン：v4

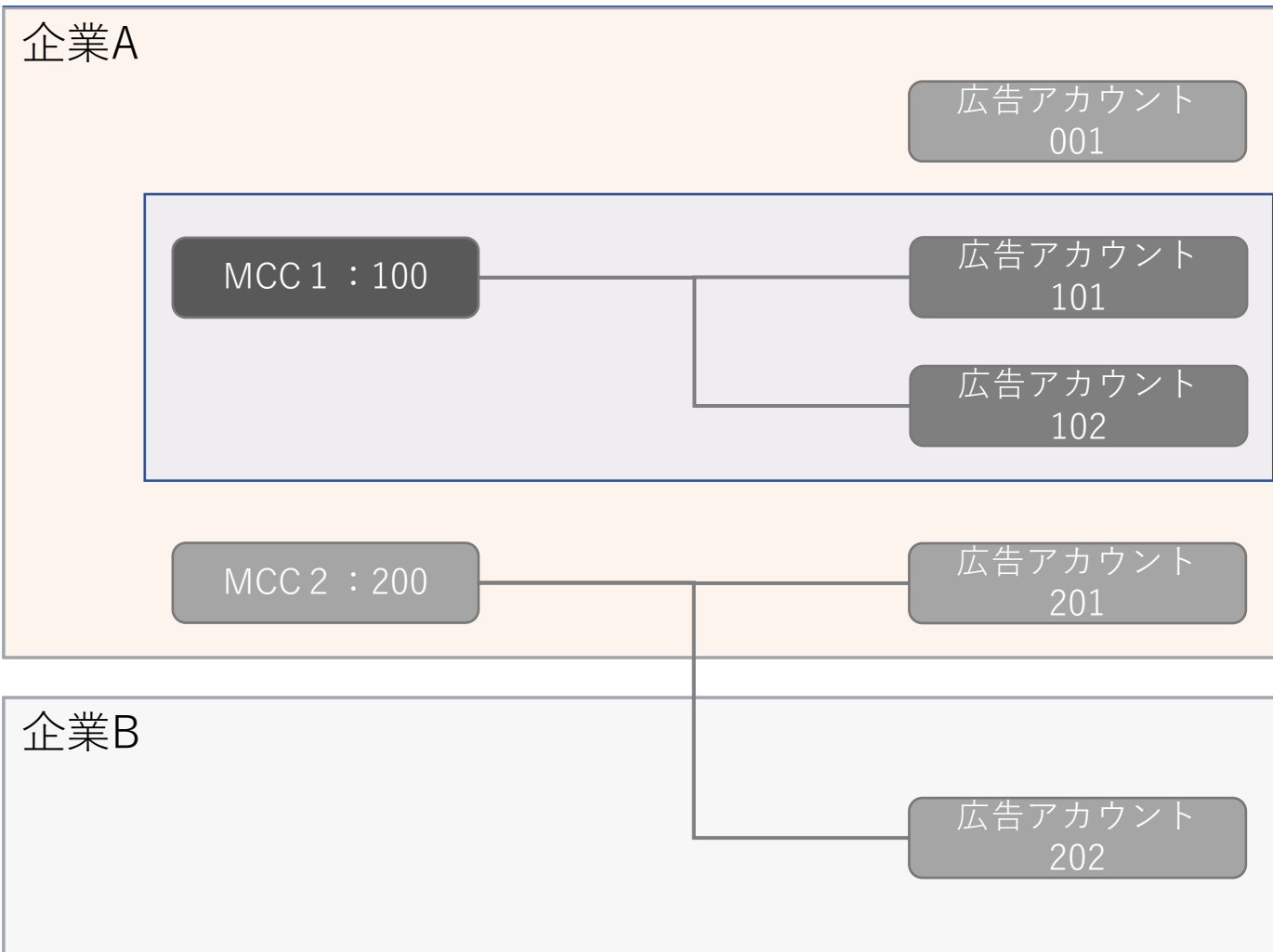
AccountService#getのレスポンス例

```
"values": [  
  {  
    "account": {  
      "accountId": 12345,  
      "accountName": "アカウントAAA",  
      "isManagerAccount": "FALSE",  
      . . .  
    },  
  },  
  {  
    "account": {  
      "accountId": 23456,  
      "accountName": "MCCアカウントABC",  
      "isManagerAccount": "TRUE",  
      . . .  
    },  
  }  
]
```

MCC対応 AccountLinkService

APIパートナー限定

MCCの構造を確認するためには、 AccountLinkServiceを使用します



リクエスト例

```
{  
  "mccAccountId": 100,  
}
```

レスポンス例

```
"values": [{  
  "accountLink": {  
    "accountId": 101,  
    "mccAccountId": 100,  
    ...  
  }, {  
    "accountLink": {  
      "accountId": 102,  
      "mccAccountId": 100,  
      ...  
    },  
  },  
}]
```

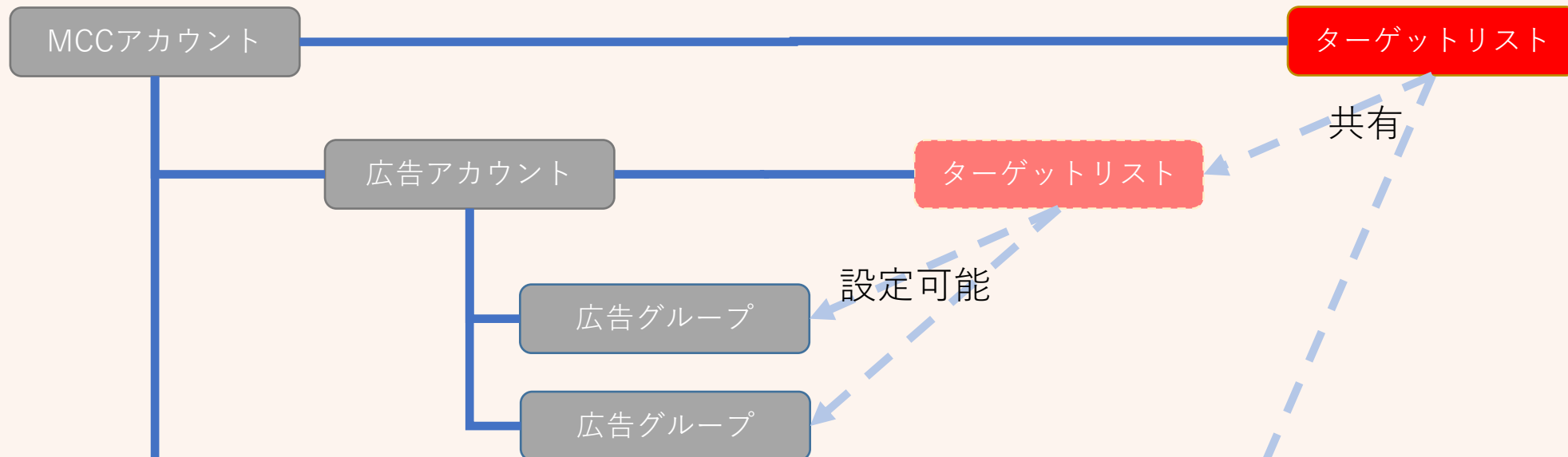
ターゲットリストの共有

APIパートナー限定

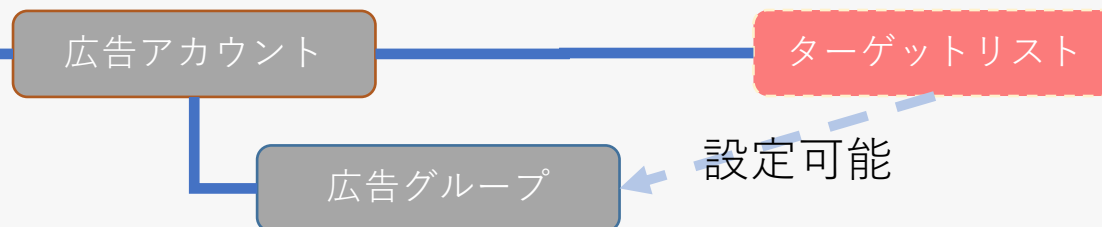
(MCCアカウントのターゲットリスト共有)

MCCアカウントで発行したサイトリターゲティングタグ・ターゲットリストを、**広告アカウント間・代理店間で共有可能**になります。

企業A



企業B

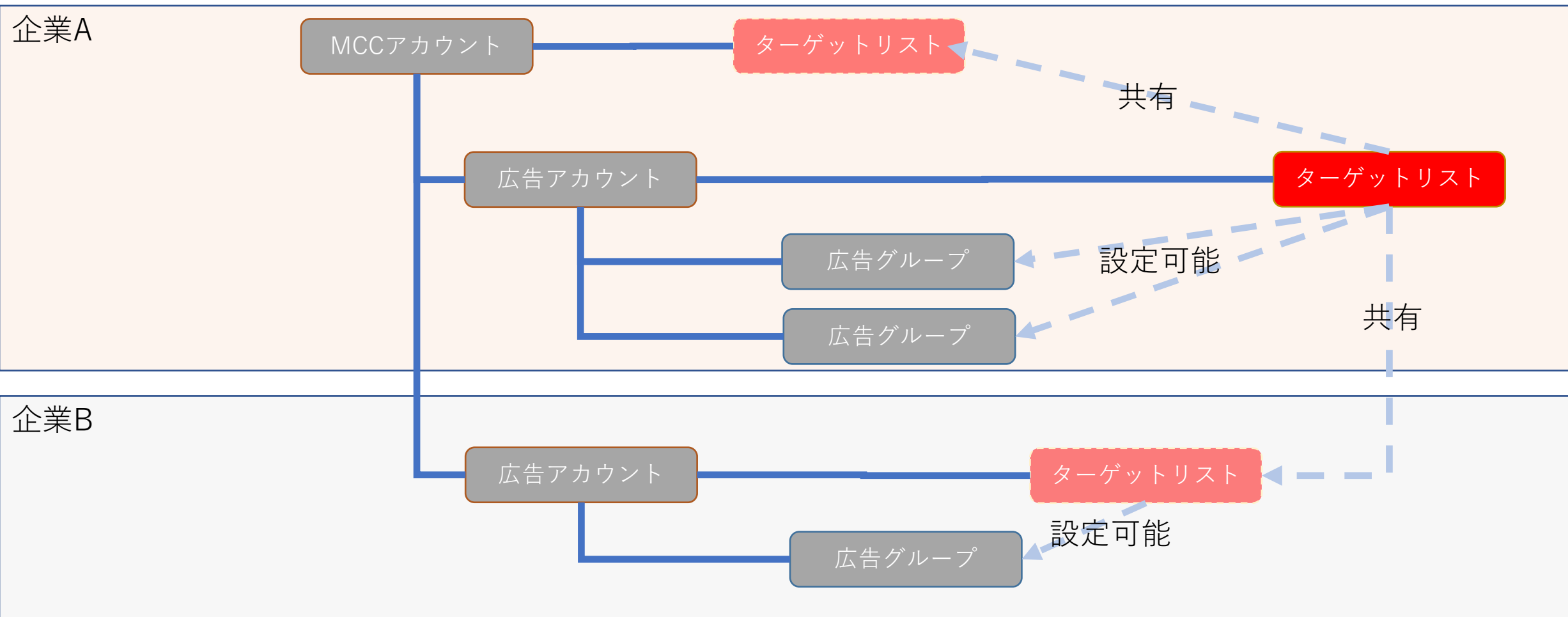


ターゲットリストの共有

APIパートナー限定

（広告アカウントのターゲットリスト共有）

MCCアカウント配下の広告アカウントで作成した既存のターゲットリストを共有し、**MCCアカウントに紐づいている他広告アカウントで使うことも可能**です。



ターゲットリスト共有 登録

ディスプレイ広告のターゲットリストの共有が全てのお客様で利用可能になりました

MCCに対してターゲットリストを作成することで共有用のターゲットリストを作成可能です

※アカウント配下で共有可能なターゲットリストを作成はAPIでは未対応

ディスプレイ広告

対象バージョン：v4

※リリース予定：3月中

APIパートナー限定

RetargetingListService#addのリクエスト例

```
{
  "accountId": 12345, ← MCCアカウントIDが指定可能
  "operand": [
    {
      "targetList": {
        "ruleTargetList": {
          . . .
        },
        "targetListType": "RULE"
      },
      "targetListName": "共有リストA",
    }
  ]
}
```

ターゲットリスト共有 取得

RetargetingListService#getで共有されたターゲットリストが取得可能になり、レスポンスに共有元のアカウントと共有ステータスが追加されました

v3以前のgetでもリストは返却されますがステータスがないため区別はつきません

ディスプレイ広告

対象バージョン：v4

※リリース予定：3月中

APIパートナー限定

RetargetingListService#getのレスポンス例

```
"values": [  
  {  
    "retargetingList ": {  
      "targetListId": 12345,  
      "targetListName": "ターゲットリストA",  
      "sourceAccountId": 456,  
      "sourceAccountName": "共有元アカウント名",  
      "isShared": "TRUE",  
      . . .  
    },  
  },  
]  
]
```

アカウントを横断した横断リーチレポート

APIパートナー限定

横断リーチレポートが、アカウント横断で実行が可能になります

同じMCCに属するディスプレイ広告、検索広告のアカウントを3つまで選択可能

アカウントを横断する場合の集計対象期間は最大30日

※リリース日未定

ディスプレイ広告

対象バージョン：v4

ReportDefinitionService#addのリクエスト例

"accountId": 98765, ← MCCアカウントID

"operand": [

"reportTypeCondition": {

"crossCampaignReachesReportCondition": {

"crossCampaignType": "CAMPAIGN_ID",

"crossCampaignIds": [{

"account": {

"accountId": 12345,

"productType": "YDA"

},

"campaignId": 67890

},{

"account": {

"accountId": 23456,

"productType": "YSA"

},

"campaignId": 78901

}],

"reportType": "CROSS_CAMPAIGN_REACHES"

}

アカウントを横断したコンバージョン経路レポート

APIパートナー限定

コンバージョン経路レポートが、アカウント横断で実行が可能になります

同じMCCに属するディスプレイ広告、検索広告のアカウントを3つまで選択可能

アカウントを横断する場合の集計対象期間は最大30日

※リリース日未定

ディスプレイ広告

対象バージョン：v4

```
ReportDefinitionService#addのリクエスト例
"accountId": 98765, ← MCCアカウントID
"operand": [
  "reportTypeCondition": {
    "conversionPathReportCondition": {
      "lookbackWindow": 90,
      "includeViewInteraction": "TRUE",
      "conversionPathAccountSetting": {
        "baseAccount": {
          "accountId": 12345,
          "productType": "YDA"
        },
        "subAccounts": [
          {
            "accountId": 67890,
            "productType": "YSA"
          }
        ]
      }
    }
  },
],
},
```

レポートの機能改善

APIパートナー限定

下記の改善を行いました

- ・ ファイルのヘッダー有無

reportSkipColumnHeader:TRUE/FALSE

- ・ ファイルの合計行有無

reportSkipColumnHeader :TRUE/FALSE

- ・ 小数点の出力方法変更

reportDecimalPartDisplayType:
SIMPLE_DISPLAY/FULL_DISPLAY

ディスプレイ広告

対象バージョン：v4

ReportDefinitionService#addの例

```
{  
  "accountId": xxxxxxxx,  
  "reportDateRangeType": "TODAY",  
  "fields": ["IMPS"],  
  "reportSkipColumnHeader": "TRUE",  
  "reportSkipReportSummary": "TRUE",  
  "reportDecimalPartDisplayType": "FULL_DISPLAY",  
}
```

レポートの機能改善

APIパートナー限定

- ・ ヘッダーと合計行の設定を両方TRUEにした場合 ※デフォルトはFALSE

キャンペーン名,インプレッション数,クリック数
AAAA,100,10
BBBB,200,20
合計,300,30



AAAA,100,10
BBBB,200,20

- ・ 小数点の設定の違い

SIMPLE_DISPLAY . . . v3以前と同仕様 デフォルトの設定

FULL_DISPLAY . . . 最大で小数点以下16桁まで表示
桁数処理（四捨五入など）は行わない
(例) 0.6666666666666666

年齢ターゲティングのレンジ変更

APIパートナー限定

年齢のレンジが5歳単位での
レンジに変更になります

2021年春リリース予定

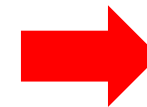
IF先出し

ディスプレイ広告

対象バージョン：v4

現年齢

- 13～14
- 15～17
- 18～19
- 20～21
- 22～29
- 30～39
- 40～49
- 50～59
- 60～69
- 70～
- 不明



新年齢

- 15～19
- 20～24
- 25～29
- 30～34
- 35～39
- 40～44
- 45～49
- 50～54
- 55～59
- 60～64
- 65～69
- 70～
- 不明

年齢ターゲティングのレンジ変更

APIパートナー限定

AdGroupTargetServiceの対応表

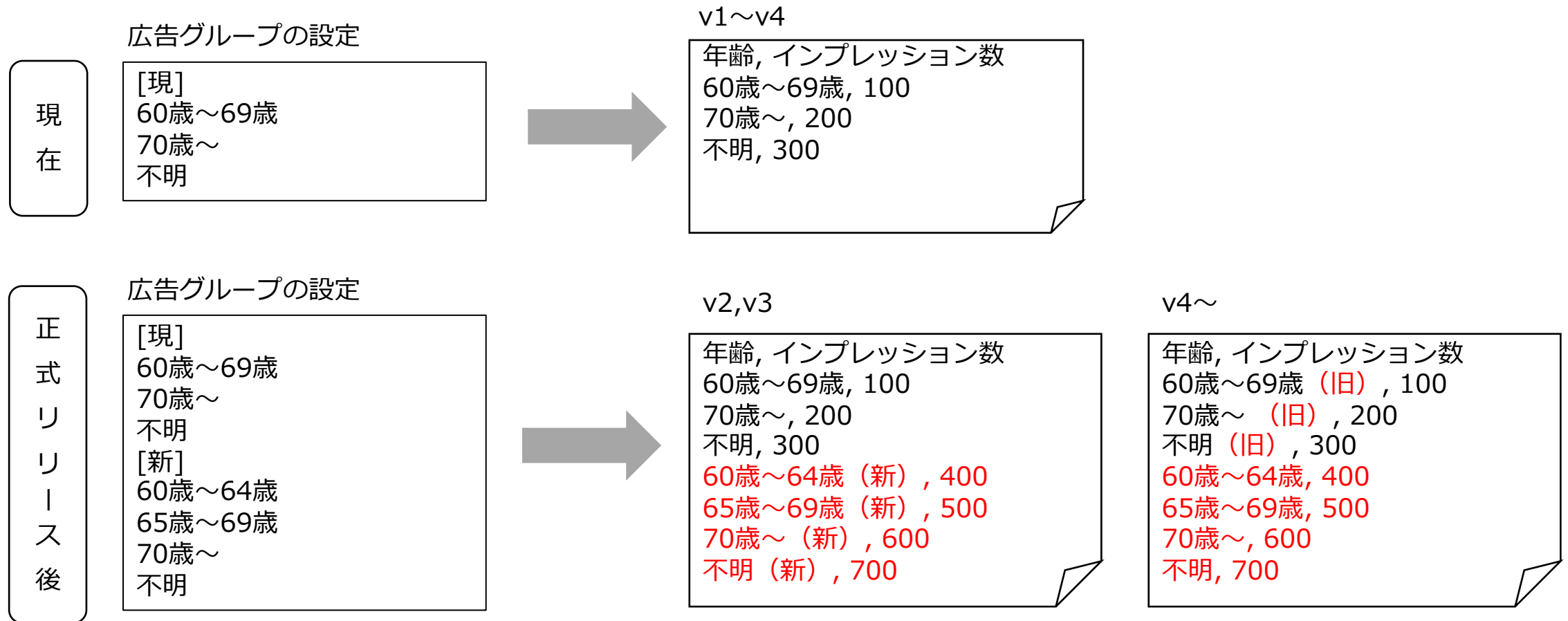
version	action	2021年3月4時点		正式リリース 春予定		現レンジ廃止 秋予定	
		現	新	現	新	現	新
v1,v2,v3	add set remove	○	×	○	×	×	×
	get	○	×	○	△	×	△
v4～	add set remove	○	×	○	○	×	○
	get	○	×	○	○	×	○

△ = UNKNOWNとして取得される

年齢ターゲティングのレンジ変更

APIパートナー限定

レポートの出力例 ※複数の広告グループにまたがって年齢設定されている前提



ポイント

- ・インプレッション、クリックなど統計値の重複はしない
- ・現レンジで配信した統計値は、新レンジで再集計はされない

各リスト系ターゲティングの仕様変更 入稿

APIパートナー限定

広告グループへの、ターゲットリスト、サーチキーワードリスト、プレイスメントリストの紐付けに関して仕様が変わります

- ・ リスト紐付け可能数：1 → 10
- ・ 各リストに入札調整率が設定可能

ディスプレイ広告

対象バージョン：全て

AdGroupTargetService#addのリクエスト例

```
"operand": [  
  {  
    "campaignId": 123,  
    "adGroupId": 234,  
    "bidMultiplier": "1.0",  
    "target": {  
      "targetId": "12345",  
      "targetType": "SITE_RETARGETING"  
    }  
  }, {  
    "campaignId": 123,  
    "adGroupId": 234,  
    "bidMultiplier": "1.2",  
    "target": {  
      "targetId": "67890",  
      "targetType": "SITE_RETARGETING"  
    }  
  }  
]
```

各リスト系ターゲティングの仕様変更 レポート

APIパートナー限定

レポートに各リストの項目が追加され、リスト別のレポートが取れるようになります。

- SEARCH_KEYWORD_LIST_ID
- SEARCH_KEYWORD_LIST_NAME
- SITE_RETARGETING_LIST_ID
- SITE_RETARGETING_LIST_NAME
- PLACEMENT_LIST_ID
- PLACEMENT_LIST_NAME

各リスト系ターゲティングの仕様変更 レポート

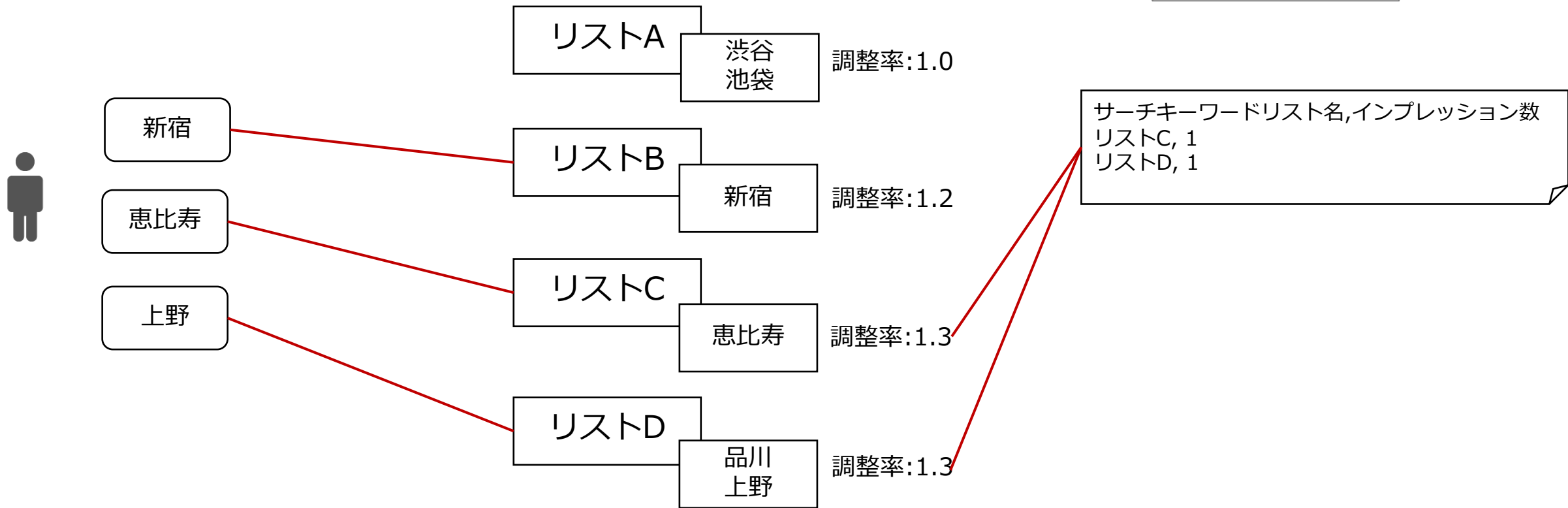
APIパートナー限定

各リストを指定したレポートを作成した場合 ※サーチキーワードリストの例

配信対象の検索履歴

広告グループ設定

レポートの出力



ポイント

リストが複数配信にマッチした場合、調整率が一番高いリストを実績とする
調整率が同じ場合は、実績は重複してレポートが作成される

レスポンス広告 入稿仕様

APIパートナー限定

検索広告の新しい入稿形式に対応します

タイトルを最大15件、説明文を最大4件入稿可能となります

アドカスタマイザー、IF関数は使えません

リリース未定

IF先出し

検索広告

対象バージョン：v4

AdGroupAdService#addのリクエスト例

```
"ad": {  
  "adType": "RESPONSIVE_SEARCH_AD",  
  "headline1":, ←使用しない  
  "description1":, ←使用しない  
  "responsiveSearchAd": {  
    "headlines": [  
      { "text": "タイトル1" },  
      { "text": "タイトル2" },  
      { "text": "タイトル3" }  
    ],  
    "descriptions": [  
      { "text": "説明文1" },  
      { "text": "説明文2" },  
    ]  
  },  
}
```

レスポンス広告 レポート仕様

APIパートナー限定

レスポンス広告のタイトル/説明文のレポートフィールド名は、従来のフィールドとは別になります

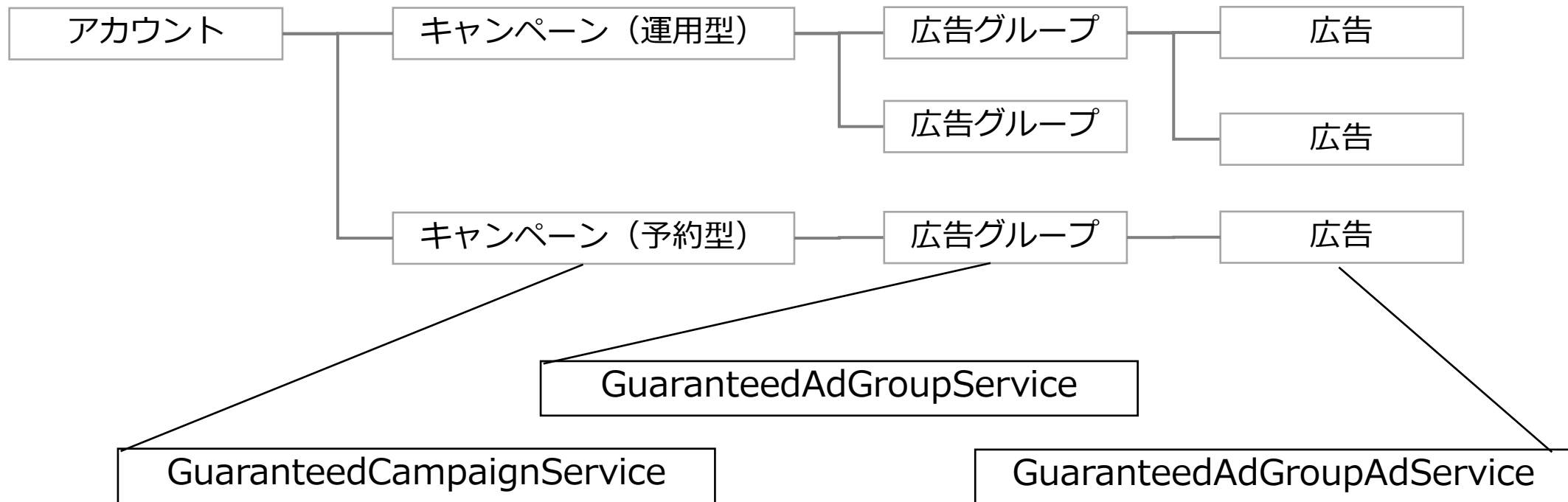
形式	対象項目	フィールド名	表示名称
従来	タイトル	TITLE1 - TITLE3	タイトル1 - タイトル3
	説明文	DESCRIPTION1, DESCRIPTION2	説明文1,説明文2
レスポンス広告	タイトル	ASSET_TITLE1 - ASSET_TITLE15	タイトル1（アセット） - タイトル15（アセット）
	説明文	ASSET_DESCRIPTION1 - ASSET_DESCRIPTION4	説明文1（アセット） - 説明文4（アセット）

従来の、拡大テキスト広告、アプリダウンロード用広告、動的検索連動型広告などのタイトル/説明文は、引き続き、各TITLEとDESCRIPTIONフィールドから取得ください

ディスプレイ広告（予約型）の対応方法

APIパートナー限定

予約型のエンティティ構造



予約型のエンティティの操作は専用のServiceを使用します

ディスプレイ広告（予約型）の対応方法

APIパートナー限定

予約型の機能概要

	機能	概要	使用Service	権限
1	商品取得	予約型の商品の取得	GuaranteedSimulationService/getPackage	公開
2	シミュレーション	商品、期間、配信対象を指定して 配信可能かシミュレーションを実行	GuaranteedSimulationService/add	限定
3	予約の確定	シミュレーション結果をもとに予約の確定	GuaranteedReservationService/add	限定
4	キャンペーンの更新 広告グループ、広告の 追加、更新	キャンペーンの編集 広告グループと広告の追加、編集	GuaranteedCampaignService/set GuaranteedAdGroupService/add,set GuaranteedAdGroupAdService/add,set	公開
5	各参照	参照	GuaranteedCampaignService/get GuaranteedAdGroupService/get GuaranteedAdGroupAdService/get GuaranteedPreviewService/get	公開

ディスプレイ広告（予約型）の対応方法

APIパートナー限定

レポートの出力例



- ・ fieldsにACCOUNT_ID,IMPSを設定した場合

アカウントID, インプレッション数
1234, 300

運用型と予約型の値は合算される

- ・ fieldsにCAMPAIGN_BUYING_TYPE,IMPSを設定した場合

キャンペーン購入タイプ, インプレッション数
運用型, 100
予約型, 200

明確に区別したい場合は、キャンペーン購入タイプを使用する

質疑応答の実施方法

APIパートナー限定

質疑応答はSlidoにて実施いたします。下記へアクセスお願いいたします。



<https://app.sli.do/event/hpwdt0oh>

時間の都合ウェビナーで紹介できなかったアップデートをまとめています

サーチキーワードの停止対応

APIパートナー限定

一部サーチキーワードが使用停止になります

サーチキーワードに停止日が設定され、停止日移行は入稿できず、設定していた場合は対象のキーワードについては配信されません

停止したキーワードのリーチ数はnullになります

v4以前では使用停止の判別ができないため、注意してください

ディスプレイ広告

対象バージョン：v4

RetargetingListService#getのレスポンス例

```
"values": [  
  {  
    "searchKeywordIdea": {  
      "searchKeywordId": 12345,  
      "searchKeyword": "sample",  
      "desktopSearchVolume": null,  
      "smartPhoneSearchVolume": null,  
      "tabletSearchVolume": null,  
      "closeDate": "2020224",  
      "availabilityStatus": "UNAVAILABLE",  
      . . .  
    },  
  },  
]
```

文字コードを表現するEnumの値を一部変更

APIパートナー限定

AuditLogServiceEncoding

UTF_8 -> UTF8

UTF_16LE -> UTF16LE

検索広告

CampaignExportServiceEncoding

UTF-8 -> UTF8

検索広告

PageFeedItemServiceBulkEncoding

UTF-8 -> UTF8

UTF-16LE -> UTF16LE

検索広告

ReportDefinitionServiceReportDownloadEncode

UTF-8 -> UTF8

共通

対象バージョン：v4

検索広告の使用できる記号の拡大について

APIパートナー限定

検索広告において下記記号が使用可能になりました

提供対象	記号類	括弧類
タイトル/説明文	○	○
広告表示オプション	-	-
アドカスタマイザー (データ自動挿入リスト)	○	-

■記号類

No.	名称	記号	Unicode	半角/全角
1	シングルコーテーション (開始、終了)	'	U+0027	半角
2	ダブルコーテーション (開始)	"	U+201C	全角
3	ダブルコーテーション (終了)	"	U+201D	全角
4	から、波ダッシュ	～	U+301C	全角
5	チルダ	～	U+FF5E	全角
6	ハイフン	-	U+002D	半角
7	ドル	\$	U+0024	半角

■括弧類

No.	名称	括弧	Unicode	半角/全角
1	二重かぎカッコ	『 』	U+300E U+300F	全角
2	かぎカッコ	「 」	U+300C U+300D	全角
3	角カッコ	[]	U+005B U+005D	半角
		[]	U+FF3B U+FF3D	全角
4	山カッコ	< >	U+FF1C U+FF1E	半角
5	二重山カッコ	《 》	U+300A U+300B	半角
		« »	U+226A U+226B	全角

対象バージョン：全て

検索広告の利用できる記号の拡大について

APIパートナー限定

- ・「～」（U+301C）の取り扱いについて

下記ServiceのEncodingの指定に「SJIS」を指定した場合は、文字化け対策でU+FF5Eへの置き換えを行っています
「SJIS」を使わずに「UTF8」の使用を推奨します

対象Service

AuditLogService

CampaignExportService

ReportDefinitionService

ReportDefinitionServiceのIF変更

APIパートナー限定

ReportDefinitionServiceのFilter
について軽微な修正があります

検索広告

対象バージョン：v4

```
"filters": [  
  {  
    "field": "IMPS",  
    "reportOperator": "IN",  
    "value": [ "AAA"]  
  }  
],
```

~v3

```
"filters": [  
  {  
    "field": "AD_NAME",  
    "filterOperator": "IN",  
    "values": [ "AAA"]  
  }  
]
```

v4

検索広告の提案機能の刷新

APIパートナー限定

提案機能について下記の通り変更します

Service名	V4でのステータス	移行先
TargetingIdeaService	EOL	KeywordPlanIdeaService
KeywordEstimatorService	Deprecated	KeywordForecastMetricsService
KeywordPlanIdeaService	New	-
KeywordForecastMetricsService	New	-

※v4よりQPSは「最大1件/秒」に変更

検索広告

対象バージョン：v4

参考 IF差分

<https://github.com/yahoojp-marketing/ads-search-api-documents/tree/master/migration>

EOP